

令和8年度 年間指導計画・評価計画 【2年 国語科】 担当：渡邊 訓子

※ワークシートはロイロノートを含む

評価の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的態度（主体的に学習に取り組む態度）

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
1 学期	4 月	1 広がる学びへ ○見えないだけ	作品を通して感じたことや、友達と話し合ったことを基に、詩の特徴が効果的に伝わるように工夫して朗読する。	知・技(1)エ	知・技 主体的態度	詩の中で使用されている表現技法や語句について理解し、話や文章の中で使うことを通して、五感を磨き、語彙を豊かにしている。	定期考査 ワークシート ワーク
		○アイヌプラネット	登場人物の言動や心情を表す表現から、「僕」の心情の変化を捉える。	知・技(1)エ 思・判・表C(1)ア 思・判・表C(2)イ	知・技 思・判・表 主体的態度	登場人物の言動を手がかりにして、人物の関係や心情の変化を捉えている。	定期考査 ワークシート ワーク
	5 月	○枕草子	作者の四季に対するものの見方や感じ方に触れ、自分が感じる四季の趣と比べる。	知・技(3)イ 思・判・表B(1)ア 思・判・表C(1)オ	知・技 思・判・表 主体的態度	自分なりの季節感が効果的に伝わるように、構成や描写を工夫して書いている。	定期考査 ワークシート ワーク
		○情報整理のレッスン 思考の視覚化	教材文を読み、情報を整理し、視覚的に表す方法を理解する。	知・技(2)イ	知・技 主体的態度	積極的に情報と情報の関係の様々な表し方を理解し、使おうとしている。	ワークシート
		○多様な方法で情報を集めよう 職業ガイドを作る	社会生活の中から紹介する事柄を決め、多様な方法で情報を集めながら、自分の考えをまとめる。	知・技(2)イ 思・判・表B(1)ア	知・技 思・判・表 主体的態度	興味をもった職業について、複数の方法で情報を集めて自分の考えを整理している。	ワークシート
		○漢字に親しもう1 熟語の構成	教材文を読み、熟語の構成の種類について理解する。	知・技(2)イ	知・技 主体的態度	熟語の主な構成について理解している。	定期考査 ワークシート ワーク
	6 月	2 多様な視点から ○クマゼミ増加の原因を探る	本論を読み、調査によって明らかになったことを二つに分けて捉える。本論での説明の仕方の特徴を、事実と筆者の考えの示し方などに着目して捉える。	知・技(1)オ 思・判・表C(1)ア ウ	知・技 思・判・表 主体的態度	文章の構成や事実と事実に対する筆者の考えの組み合わせに着目して、説明の仕方の特徴を捉えている。	定期考査 ワークシート ワーク
		○魅力的な提案をしよう プレゼンテーションをする	相手の知りたいことを想定し、効果的な説明の仕方についてグループで話し合う。進行案を基に、グループごとにプレゼンテーションを行う。	知・技(1)ア 思・判・表A(1)イ ウ	知・技 思・判・表 主体的態度	多様な方法で情報を集め、目的や聞き手に合わせて、材料を整理して、伝えたいことが明確な構成、展開を作ることができている。	行動の確認 行動の分析 ワークシート
		○漢字に親しもう2	新出漢字を確認する。練習問題に取り組む。	知・技(1)ウ	知・技 主体的態度	積極的に漢字を書いたり読んだりしようとしている。	定期考査 ワーク
		○文法への扉1 単語をどう分ける	単語がいくつかの分類に分けられていることを知り、そのうちの「自立語」について知ることができる。	知・技(1)オ	知・技 主体的態度	自立語にどんな品詞があるかを知り、それぞれが文中に果たす役割について理解している。	定期考査 ワーク
	7 月	情報社会を生きる ○メディアを比べよう	メディアから適切な情報を得るためにどのような方法で何を確認すべきか、わかったことをまとめる。どんな情報も発信者によって編集されたものであることを理解させる。	知・技(2)イ 思・判・表B(1)ア 思・判・表C(1)イ エ	知・技 思・判・表 主体的態度	同一の話題について書かれた複数のメディアを比較し、それぞれの特徴について考えている。「書くこと」において、目的や意図に応じて多様な方法で集めた材料を整理している。	行動の確認 ワークシート
		3 言葉と向き合う ○短歌に親しむ ○短歌を味わう	好きな一首を選び、自分の知識や経験と結びつけて感想を書く。目にした情景、心に残る出来事や感動したことなど、題材を探して短歌を作る。	知・技(1)エ 思・判・表B(1)ウ 思・判・表C(1)エ オ	知・技 思・判・表 主体的態度	自分の思いが伝わるように、学習した短歌の形式や表現の工夫を参考にして短歌を作っている。	定期考査 ワークシート ワーク
○言葉を比べよう 言葉1 類義語・対義語・多義語		似た意味の言葉を使って物語を書く活動を通して、言葉の共通点や相違点を明確にし、語感を磨く。	知・技(1)エ	知・技 主体的態度	気持ちを表す言葉の微妙な違いについて考え、語感を磨いている。	定期考査 ワーク	
○言葉の力		文章を三つのまとまりに分け、それぞれの内容を要約する。	知・技(3)エ 思・判・表C(1)オ 思・判・表C(2)イ	知・技 思・判・表 主体的態度	挿話と筆者の考えとの関連を捉え、言葉と人との関わりについて自分の考えをまとめている。	定期考査 ワークシート ワーク	

令和8年度 年間指導計画・評価計画 【2年 国語科】 担当：渡邊 訓子

※ワークシートはロイロノートを含む

評価の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名(教材名)	単元のねらい	学習指導要領の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
9月		4人間のきずな ○ヒューマノイド	登場人物の言動や様子を描写した表現から、人柄や心情を考える。	知・技(1)エ 思・判・表C(1)イ 思・判・表C(2)イ	知・技 思・判・表 主体的態度	構成や場面展開についての理解を深め、登場人物の言動の意味を考えながら、作品を読み味わっている。	定期考査 ワークシート ワーク
		○字のない葉書	父親の言動から、その人柄や心情を捉える。亡くなった父親に対して今の「私」がどんな思いを抱いているかを考える。戦時中の家族の生活から命の尊さについて考える。	知・技(3)エ 思・判・表C(1)エ	知・技 思・判・表 主体的態度	言動や様子を表す表現に着目して、父親の人柄や心情を読み取っている。父や妹の様子から、命の尊さについて考えている。	定期考査 ワークシート ワーク
		○【推敲】表現の効果を考える	教材文を読み、言葉の使い方や表記の誤りについて発表し合う。	知・技(1)カ 思・判・表B(1)エ	知・技 思・判・表 主体的態度	四つの観点を理解して、誤りがない文章にしている。	ワークシート
		○表現を工夫して書こう 手紙を書く	「目標」や「学習の見通しをもとう」などから本数、相手と目的、内容を決めて手紙を書く。	知・技(1)ア・カ 思・判・表B(1)ウ	知・技 思・判・表 主体的態度	伝えたい内容を明確にし、効果的に伝わるように表現や構成を工夫して書いている。	ワークシート
		○敬語	教材文を読み、敬語の働きや種類について理解する。	知・技(1)カ	知・技 主体的態度	敬語の働きについて理解している。	定期考査 ワーク
2学期 10月		○漢字に親しもう3	新出漢字を確認する。練習問題に取り組む。	知・技(1)ウ	知・技 主体的態度	積極的に漢字を書いたり読んだりしようとしている。	定期考査 ワーク
		5論理を捉えて ○モアイは語る—地球の未来	筆者の論の展開と主張を捉える。序論での問いや問題に対応した説明を確認する。本論の話題に応じた小見出しを付ける。イースター島と地球の状況から筆者の主張を捉える。	知・技(2)ア 思・判・表C(1) エ・オ	知・技 思・判・表 主体的態度	序論の問題提起に対応した本論の説明や本論を受けた結論など、論の展開をおさえて、筆者の主張を捉えている。	定期考査 ワークシート ワーク
		○思考のレッスン2 根拠の吟味	教材文を読み、根拠を吟味する方法を理解する。	知・技(2)ア	知・技 主体的態度	今までの学習をいかして、積極的に意見と根拠の関係について理解しようとしている。	ワークシート
		○根拠の大切さを考えて書こう 意見文を書く	根拠の適切さや反論を想定して文章構成を考える。完成した意見文を友達と読み合い、説得力があったところや改善点を伝え合う。	知・技(2)ア 思・判・表B(1)ウ	知・技 思・判・表 主体的態度	根拠となる事実を具体的に示したり、想定される反論に対する意見を示したりしている。	行動の確認 ワークシート
		○漢字に親しもう4	新出漢字を確認する。練習問題に取り組む。	知・技(1)ウ 知・技(2)ア 思・判・表A(1) ア・オ	知・技 思・判・表 主体的態度	積極的に漢字を書いたり読んだりしようとしている。	定期考査 ワーク
		○【討論】異なる立場から考える 立場を尊重して話し合おう	討論のテーマを決め情報を集める。立場を決めてグループで討論を行う。			すすんで互いの立場や考えを尊重し、学習の見通しをもって討論しようとしている。	行動の確認 行動の分析 ワークシート
		6いにしへの心を訪ねる ○音読を楽しもう 平家物語	「平家物語」の主な内容と文章の特徴を知る。教材文を朗読(音読)、あるいは暗唱する。	知・技(3)ア	知・技 主体的態度	歴史的仮名遣いやリズムなど作品の特徴を捉えて朗読しようとしている。	行動の確認 定期考査 ワーク
11月		○扇の的—「平家物語」から	「平家物語」に描かれたものの見方や考え方について、自分の考えをもつ。「弓流し」の場面も合わせて読み、武士の考え方を捉えさせ	知・技(3)ア・イ 思・判・表C(1)イ	知・技 思・判・表 主体的態度	登場人物の言動から心情を考え、そこに表れた価値観などに対して、自分なりの考えをもち、意見を述べている。	定期考査 ワークシート ワーク
		○仁和寺にある法師—「徒然草」から	登場人物の行動を捉え、作者のものの見方を考える。	知・技(3)ア・イ 思・判・表B(1)イ 思・判・表C(1) エ・オ	知・技 思・判・表 主体的態度	登場人物の行動を通して述べられた作者の考えについて、自分の考えをもち、述べている。	
		○漢詩の風景	漢詩に描かれた季節、情景、作者の心情を読み味わう。			それぞれの漢詩に歌われている季節、情景や心情を、表現に基づいて想像し、まとめている。	

2 学 期	1 2 月	7価値を語る ○君は「最後の晚餐」を知っているか	「カッコいい」のほか、文末表現も「だろう」「ではないか」など、主観的な表現が多く用いられていることに注意させ、使われている語句と「評論」という文章形態との関係も意識させる。	知・技(2)ア 思・判・表C(1) イ・エ	知・技 思・判・表 主体的態度	語句や表現の工夫に着目して読み、筆者のものの見方や考え方を読み取っている。	定期考査 ワークシート ワーク
		○魅力を効果的に伝えよう 鑑賞文を書く	絵を見て感じたことを付箋などに書き出し、それをもとに構成を考え、鑑賞文を書く。	知・技(1)エ 思・判・表B(1) ウ・オ	知・技 思・判・表 主体的態度	作品の魅力が伝わるよう、作品に描かれている様子を具体的に説明することができている。	ワークシート
		○漢字に親しもう5	新出漢字を確認する。練習問題に取り組む。	知・技(1)ウ	知・技 主体的態度	積極的に漢字を書いたり読んだりしようとしている。	定期考査
		○文法への扉2 用言の活用	活用の意味や用語について理解する。	知・技(1)オ	知・技 主体的態度	用言の活用形と活用の種類を理解して問題を解くことができる。	定期考査

令和8年度 年間指導計画・評価計画 【2年 国語科】 担当：渡邊 訓子

※ワークシートはロイロノートを含む

評価の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
3 学期	1 月	6 表現を見つめる ○走れメロス	描写や会話に着目して、登場人物の人物像の変化を捉える。	知・技（1）エ 思・判・表B（1）ウ 思・判・表C（1） イ・オ	知・技 思・判・表 主体的態度	登場人物の変化を読み取り、作品に描かれた「友情」「正義」に対する考え方と自分の考えを比べている。	定期考査 ワークシート ワーク
		○百人一首	作品の特徴を生かして朗読し、古典の世界に親しむ。	知・技（3）ア	知・技 主体的態度	作品の特徴を生かして朗読することを通して、古典の正解に親しんでいる。	行動の確認 定期考査
		○漢字に親しもう6	新出漢字を確認する。練習問題に取り組む。	知・技（1）ウ	知・技 主体的態度	積極的に漢字を書いたり読んだりしようとしている。	定期考査 ワーク
		○文法への扉2 付属語	「付属語」を読み、助詞、助動詞の働きと種類について理解する。	知・技（1）オ	知・技 主体的態度	助詞と助動詞の働きや種類について整理した内容を理解している。	定期考査 ワーク
	2 月・ 3 月	○「ある日の自分」の物語を書く	自分を登場人物の一人として、物語のあらすじを考える。	知・技（1）オ 思・判・表B（1） イ・オ	知・技 思・判・表 主体的態度	場面の様子や気持ちの変化が効果的に伝わるように描写や構成を工夫して書いている。	ワークシート
		○話し言葉と書き言葉	話し言葉と書き言葉の違いについて例文をもとに考える。	知・技（1）イ	知・技 主体的態度	話し言葉と書き言葉の特徴を生かして表現する際にどんな注意が必要か考えることができる。	定期考査 ワーク
		○送り仮名	教材文を読み、送り仮名の付け方の主な原則と例外について理解する。	知・技（1）ウ	知・技 主体的態度	送り仮名の主な原則と例外について理解している。	定期考査 ワーク
	振り返り ○学習を振り返ろう	詩歌や小説などを読み、引用して解説したり、考えたことを伝え合ったりする。	知・技（1）ア・カ 知・技（2）ア 思・判・表A（1） イ・エ	知・技 思・判・表 主体的態度	一年間の国語学習の中から題材を選び、分析したことを整理してまとめている。	行動の確認 ワークシート	

令和8年度 年間指導計画・評価計画

【2年 社会科】

担当：漆沢伸一、中村功

評価の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領の指導項目	評価の観点	評価規準	評価方法
1学期	4月	地理 第3編 日本のさまざまな地域 第2章 日本の地域的特色と地域区分	日本の地形や気候、災害と防災、人口、資源・エネルギー、産業、交通・通信などについて、世界との比較や地域間の結び付きなどの観点から考察させ、日本の特色を理解させる。また、日本の課題について考察を深め、それを主体的に追求し、解決しようとする態度を身に付けさせる。	日本の諸地域 ア イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	○日本の特色を地形や気候、災害と防災、人口、資源・エネルギー、産業、交通・通信など、世界との比較や地域間の結び付きなどの観点から考察し、日本の特色を理解している。また、よりよい社会の実現を視野に、日本の課題を主体的に追求しようとしている。	定期考査 ノート 小テスト 課題
	5月	歴史 第3章 中世の日本 第2節 東アジアとの関りと社会の変動	日明貿易、琉球の国際的役割など、この時代に東アジア世界と密接な関りが見られたことや、それが国内の政治に影響を及ぼしたことを理解する。	中世の日本 ア イ		○日明貿易が日本の政治や社会に与えた影響について、多面的・多角的に考察している。	
	6月	地理 第3編 日本のさまざまな地域 第3章 日本の諸地域 1節 九州地方 2節 中国・四国地方	九州地方の自然環境と各地で行われる環境保全への取組みを軸に、人々の暮らし、産業、環境問題への対策などを理解させるとともに、持続可能な社会を作るために必要な基本的な態度を身に付けさせる。 中国・四国地方の自然環境と交通・通信の整備を軸に、人々の暮らし、産業、都市と農村の変化などについて整理し、地域の特色や地域が抱える課題について考えさせる。	日本のさまざまな地域 ア イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	○九州地方の自然環境と各地で行われる環境保全への取組みを軸に、人々の暮らし、産業、環境問題への対策などについて考察し、持続可能な社会を作るために必要な基本的な態度を身に付けさせる。 ○中国・四国地方の交通・通信の整備を基に、人々の暮らし、産業、都市と農村の変化などについて理解するとともに、地域の特色や地域が抱える課題について考察し、まとめた内容を発表することができる。	定期考査 ノート 小テスト 課題
7月	歴史 第4章 近世の日本 第1節 ヨーロッパ人との出会いと全国統一	ヨーロッパ人の来航の背景とその影響について、世界的な視点から理解させるとともに、世界的な視点から日本の近世社会の基礎が作られたことを考察させる。 ヨーロッパ人來航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業を基に、近世社会の基礎がつけられたことを理解させる。	中世の日本 ア イ		○ヨーロッパ人の来航による社会的影響や、織田・豊臣による統一事業と当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開を基に、近世社会の基礎の形成を考察するとともに、それらの歴史的事象の知識を身に付けている。		

令和8年度 年間指導計画・評価計画

【2年 社会科】

担当：漆沢伸一、中村功

評価の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領の指導項目	評価の観点	評価規準	評価方法
2 学 期	9 月	地理 第3編 日本のさまざまな地域 第3章 日本の諸地域 3節 近畿地方	近畿地方の自然環境、人口の移動、都市や農村の変化を軸に、人々の暮らし、産業、都市と農村の変化などについて整理し、地域の特色や課題について考えさせる。	日本の諸地域 ア イ	知識・理解 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	○近畿地方について学んだ知識を基に、人々の暮らし、産業、都市と農村の変化などについて理解するとともに、地域の特色や地域の課題について考察し、まとめた内容を発表することができる。	定期考査 ノート 小テスト 課題
		歴史 第4章 近世の日本 2節 江戸幕府の成立と対外政策	江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、幕府の対外政策と対外関係などを基に、幕府のしくみの特色や幕府と藩による支配が確立したことを理解させる。	近世の日本 ア イ	○幕府の諸政策の目的に着目して、事象を相互に関連付けるなどして、身分制度の目的や民衆の生活の様子や幕府の成立と対外関係など、近世社会の変化の様子について、主体的に追求しようとしている。		
	10 月	地理 第3編 日本のさまざまな地域 第3章 日本の諸地域 4節 中部地方	中部地方の自然環境と活発な産業を軸に、人々の暮らし、現在の中心産業と伝統産業などについて整理し、地域の特色や課題について考えさせる。	日本のさまざまな地域 ア イ	知識・理解 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	○中部地方の自然的特色を理解するとともに、各地の特色ある産業について理解している。また、各地に個性豊かな産業が発達しているのかという課題に、見通しをもって主体的に追及している。	定期考査 ノート 小テスト 課題
		歴史 第4章 近世の日本 3節 産業の発達と幕府政治の推移	産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりなどを基に、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解させる。	近世の日本 ア イ	○江戸時代の政治改革の特色について、それぞれの政治改革を比較しながら考察し、それぞれの改革の特色を理解している。 ○元禄時代や文化文政の時代の民衆の暮らしや文化の特色について、資料を比較しながら考察し、時代背景と合わせてまとめることができる。		
	11 月	地理 第3編 日本のさまざまな地域 第3章 日本の諸地域 5節 関東地方	関東地方の自然環境と交通・通信の発達を軸に、人々の暮らし、産業、東京を中心に日本の中核機能が集中する関東地方と各地域との結びつき、世界との結びつきについて、資料からの的確に読み取りまとめさせる。	日本のさまざまな地域 ア イ	知識・理解 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	○関東地方の自然的特色を理解するとともに、関東地方の多様な産業について理解している。また、他の地域との強い結びつきが見られるのかという課題に、見通しをもって主体的に追及している。	定期考査 ノート 小テスト 課題
		歴史 第5章 開国と近代日本の歩み 1節 欧米における近代化の進展	欧米諸国における産業革命や市民革命、アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解させる。	近代の日本と世界 ア イ	知識・理解 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	○欧米諸国における産業革命や市民革命、アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解している。	
	12 月						

令和8年度 年間指導計画・評価計画

【2年 社会科】

担当：漆沢伸一、中村功

評価の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領の指導項目	評価の観点	評価規準	評価方法
3 学期	1 月	地理 第3章 日本の諸地域 6節 東北地方	東北地方で今なお伝統的な生活や文化が根付いている背景について、自然環境と地域的特色とを関連付けて理解させる。また、自然災害からの教訓を受け継ぐ人々の暮らしについて考えさせる。	日本の諸地域 ア イ	知識・理解 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	○東北地方で今なお伝統的な生活や文化が根付いている背景を、自然環境と地域的特色とを関連付けて理解している。また、自然災害からの教訓を受け継ぐ人々の暮らしについて考察し、防災や新しい町づくりのあり方について追及しようとしている。	定期調査 ノート 小テスト 課題
	2 月	歴史 第5章 開国と近代日本の歩み 2節 欧米の進出と日本の開国 3節 明治維新	開国から江戸幕府滅亡までの過程を、欧米諸国の動きと関連させて理解させる。また、開国の影響とその後の幕府政治の推移について多面的・多角的に考えさせる。 開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮などを基に、明治維新によって近代国家の基礎が整えられたことを理解させる。また、新政府の諸改革が進められる中で、人々の生活がどの様に変化したかを考えさせる。	近代の日本と世界 ア イ			
	3 月	地理 第3章 日本の諸地域 7節 北海道地方 歴史 第5章 開国と近代日本の歩み 3節 日清・日露戦争	北海道地方の自然環境を軸に、雄大な自然にとともに生きる人々の生活の様子や、雄大な自然を生かした産業の特色と産業を通じた世界との結びつきについて考えさせる。 由民権運動、大日本帝国憲法の制定、日清・日露戦争、条約改正などを通して、立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、我が国の国際的地位が向上したことを理解させる。	日本のさまざまな地域 ア イ 近代日本と世界 ア イ	知識・理解 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	○北海道地方の自然環境についての知識を基に、雄大な自然にとともに生きる人々の生活の様子や、雄大な自然を生かした産業の特色と産業を通じた世界との結びつきについて考察し、地域の発展や環境保全のあり方について追及しようとしている。	定期調査 ノート 小テスト 課題
				○日清・日露戦争の原因と結果について、各国の内情をふまえて整理し、戦争後の日本の国際的地位の向上について理解している。			

令和8年度 年間指導計画・評価計画 【2年 数学科】 担当：三津間 響己・清水 駆

評価の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
1 学期	4 月	1章 式の計算 1節 式の計算 2節 文字式の利用	①文字の指揮に関連した用語の意味を理解する。 ②同類項の意味を理解し、同類項をまとめることができる。 ③多項式の加法と減法の計算ができる。 ④多項式の乗法や除法の計算ができる。 ⑤(数×多項式)の加減計算ができる。 ⑥式を計算してから代入して、式の値を求めることができる。 ⑦単項式どうしの乗法や除法の計算ができる。 ⑧単項式どうしの乗除の混じった計算ができる。 ⑨身のまわりの場面から数の性質を予想し、式の計算を利用して、その予想が成り立つ理由を説明することができる。 ⑩目的に応じて簡単な等式を変形することができる。	A数と式(1) ア(ア) ア(イ) ア(ウ) ア(エ) イ(ア) イ(イ)	◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度	◇簡単な整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算をすることができる。 ◇具体的な事象の中の数量の関係を文字を使った式で表したり、式の意味を読み取ったりすることができる。 ◇文字を用いた式で数量及び数量の関係を捉え説明できることを理解することができる。 ◇目的に応じて、簡単な式を変形することができる。 ☆具体的な数の計算や既に学習した計算の方法と関連付けて、整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算の方法を考察し表現することができる。 ☆文字を用いた式を具体的な場面で活用することができる。 ○文字を用いた式のよさを実感して粘り強く考え、文字を用いた式について学んだことを生活や学習にいかそうとしたり、文字を用いた式を活用した問題解決の家庭を振り返って評価・改善しようとしたりすることができる。	授業観察 自己評価シート 振り返りシート レポート課題 問題集提出 単元確認テスト 休み明けテスト 定期考査
	5 月	2章 連立方程式 1節 連立方程式 2節 連立方程式の利用	①二元一次方程式とその解の意味を知る。 ②連立方程式とその解の意味を知る。 ③連立方程式の解のたしかめ方を知る。 ④文字を消去する意味を知る。 ⑤加減法を用いて連立方程式を解くことができる。 ⑥代入法を用いて連立方程式を解くことができる。 ⑦かっこをふくむ連立方程式や、係数に小数や分数をふくむ連立方程式を解くことができる。 ⑧ $A=B=C$ の形の連立方程式を解くことができる。 ⑨身のまわりの場面から問題を設定し、連立方程式を利用して問題を解決することができる。 ⑩連立方程式の解が、問題にあっているかどうかを吟味することができる。 ⑪連立方程式を利用して、いろいろな問題を解くことができる。	A数と式(2) ア(ア) ア(イ) イ(ア) イ(イ)	◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度	◇二元一次方程式とその解の意味を理解することができる。 ◇連立方程式の必要性と意味及びその解の意味を理解することができる。 ◇簡単な連立方程式を解くことができる。 ☆一元一次方程式と関連付けて、連立方程式を解く方法を考察し表現することができる。 ☆連立方程式を具体的な場面で活用することができる。 ○連立方程式のよさを実感し粘り強く考え、連立方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、連立方程式を活用した問題解決の家庭を振り返って評価・改善しようとしたりすることができる。	
	6 月	3章 一次関数 1節 一次関数とグラフ	①一次関数の意味を知る。 ②事象の中に一次関数として捉えられるものがあることを知る。 ③一次関数の値の変化がわかる。 ④変化の割合の意味を知る。 ⑤一次関数以外の関数の変化の割合を知る。 ⑥一次関数 $y=ax+b$ のグラフの意味を知る。 ⑦比例のグラフと一次関数のグラフとの関係と切片の意味がわかる。 ⑧傾きの意味と変化の割合との関係がわかる。 ⑨一次関数のグラフを、傾きと切片をもとにしてかくことができる。 ⑩ x の変域に制限があるときの y の変域をもとめることができる。 ⑪一次関数のグラフから、傾きと切片を読み取り式を求めることができる。 ⑫傾きとグラフ上の1点の座標から式を求めることができる。 ⑬グラフ上の2点の座標から式を求めることができる。	C関数(1) ア(ア) ア(イ) イ(ア)	◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度	◇一次関数について理解している。 ◇事象の中には一次関数として捉えられるものがあることを理解することができる。 ◇二元一次方程式を関数を表す式とみることができる。 ☆1次関数として捉えられる2つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現することができる。 ☆一次関数を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。 ○一次関数のよさを実感し粘り強く考え、一次関数について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、一次関数を活用した問題解決の家庭を振り返って評価・改善しようとしたりすることができる。	
7 月							

期	月	単元名 (教材名)	単元のねらい	学習指導要領の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
2 学期	9月	3章 一次関数 2節 一次関数と方程式 3節 一次関数の利用	①方程式 $ax+by=c$ のグラフの意味を知る。 ②方程式のグラフを、2点を求めてかくことができる。 ③ $y=k$ のグラフ、 $x=h$ のグラフの意味を知り、かくことができる。 ④連立方程式の解とそのグラフの交点の座標との関係を知る。 ⑤2直線の交点の座標を、連立方程式を用いて解くことができる。 ⑥身のまわりの場面から問題を設定し、一次関数を利用して問題を解決することができる。 ⑦一次関数とみなして問題を解決することができる。 ⑧動点の様子を一次関数で捉えることができる。	C関数(1) ア(ウ) イ(ア) イ(イ)	◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度	◇一次関数について理解している。 ◇事象の中には一次関数として捉えられるものがあることを理解することができる。 ◇二元一次方程式を関数を表す式とみることができる。 ☆1次関数として捉えられる2つの数量について、変化や対応の特徴を見だし、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現することができる。 ☆一次関数を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。 ○一次関数のよさを実感し粘り強く考え、一次関数について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、一次関数を活用した問題解決の家庭をふり返って評価・改善しようとしたりすることができる。	授業観察 自己評価シート 振り返りシート レポート課題 問題集提出 単元確認テスト 休み明けテスト 定期考査
	10月	4章 図形の調べ方 1節 平行と合同 2節 図形の性質の利用 3節 証明	①対頂角の性質を知る。 ②平行線と同位角の関係性がわかる。 ③平行線と錯角の関係性がわかる。 ④平行線の性質を使った説明ができる。 ⑤三角形の内角の和がいくつかわかる。 ⑥三角形の内角と外角の関係がわかる。 ⑦角の分類と、角による三角形の分類ができる。 ⑧多角形の内角の和の求め方がわかる。 ⑨多角形の外角の和の求め方がわかる。 ⑩合同な図形の性質を知る。 ⑪三角形の合同条件がわかる。 ⑫平行線や角の性質などを利用して、へこみのある図形の角の大きさを求めることができる。 ⑬三角形の合同を利用して距離を求めることができる。 ⑭証明の必要性を知る。 ⑮仮定と結論の意味を知る。 ⑯証明の根拠となることさらに気付くことができる。 ⑰証明の意味とその仕組みを知る。 ⑱三角形の合同条件を使って簡単な図形の性質を証明することができる。	B図形(1) ア(ア) ア(イ) イ(ア) B図形(2) ア(ア) ア(イ) イ(ア)	◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度	◇平行線や角の性質を理解することができる。 ◇多角形の角についての性質を見いだすことができる。 ◇平面図形の合同の意味及び三角形の合同条件について理解することができる。 ◇証明の必要性と意味及びその方法について理解することができる。 ☆基本的な平面図形の性質を見だし、平行線や角の性質をもとにそれらを確かめ説明することができる。 ☆三角形の合同条件などをもとにして図形の性質を論理的に確かめることができる。 ○図形の性質などを証明することのよさを実感し粘り強く考え、平面図形の性質について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、平面図形の性質を活用した問題解決の家庭をふり返って評価・改善しようとしたりすることができる。	
	11月	5章 図形の性質と証明 1節 三角形 2節 四角形 3節 図形の性質を利用した証明	①二等辺三角形の基本性質を知り、その証明をすることができる。 ②定義と定理の意味を知る。 ③2角が等しい三角形は二等辺三角形であることがわかる。 ④逆の意味を知り、その真偽を正しく判断することができる。 ⑤あることがらが正しくないことを、反例をあげて示すことができる。 ⑥正三角形の性質を知る。 ⑦直角三角形の合同条件がわかる。 ⑧直角三角形の合同条件を使って図形の性質を証明することができる。 ⑨平行四辺形の定義と性質がわかる。 ⑩平行四辺形の性質の証明ができる。 ⑪平行四辺形になるための条件やそれを使った証明ができる。 ⑫長方形、ひし形、正方形の定義を知る。 ⑬長方形、ひし形、正方形と平行四辺形の関係がわかる。 ⑭底辺が共通な三角形の性質がわかる。 ⑮四角形と面積が等しい三角形をつくることができる。 ⑯正三角形の性質や三角形の合同条件を利用した証明ができる。 ⑰条件を変えたときにも成り立つことの証明ができる。	B図形(2) ア(ア) イ(ア) イ(イ) 内(1)	◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度	◇直角三角形の合同条件について理解することができる。 ◇証明の必要性と意味及びその方法について理解することができる。 ☆三角形の合同条件などをもとにして三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめたり、証明を読んで新たな性質を見いだすことができる。 ☆三角形や平行四辺形の基本的な性質などを具体的な場面で活用することができる。 ○図形の性質などを証明することのよさを実感し粘り強く考え、三角形や平行四辺形の性質について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、三角形や平行四辺形の性質を活用した問題解決の家庭をふり返って評価・改善しようとしたりすることができる。	
12月							

令和8年度 年間指導計画・評価計画 【2年 数学科】 担当：三津間 響己・清水 駆

評価の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
3 学期	1 月	6章 場合の数と確率 1節 場合の数と確率 2節 確率の利用	①同様に確からしいことの意味を知り、確率の求め方がわかる。 ②簡単な場合について確率を求めることができる。 ③確率 p の値の範囲、及び $p=1$ 、 $p=0$ の意味がわかる。 ④樹形図や表などを用いて、起こりうる場合をもれや重なりがないように整理することができる。 ⑤いろいろな場合について確率を求めることができる意。 ⑥確率を余事象の考えによって求めることができる。 ⑦くじをさきにひくかあとにひくかであたりやすさに違いがあるかどうかを、樹形図を使って考えることができる。 ⑧あたりの本数やくじを引く人数を変えたときに、あたりやすさの違いがどうなるかを考えることができる。	Dデータの活用(2) ア(ア) ア(イ) イ(ア) イ(イ)	◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度	◇多数回の試行で得られる確率と関連付けて、場合の数をもとにして得られる確率の必要性と意味を理解することができる。 ◇簡単な場合について確率を求めることができる。 ☆同様に確からしいことに着目し、場合の数をもとにして得られる確率の求め方を考察し表現することができる。 ☆確率を用いて不確実な事象を捉え考察し表現することができる。 ○場合の数をもとにして得られる確率のよさを実感し粘り強く考え、確率について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、確率を活用した問題解決の家庭をふり返って評価・改善しようとしたりすることができる。	授業観察 自己評価シート 振り返りシート レポート課題 問題集提出 単元確認テスト 休み明けテスト 定期考査
	2 月	7章 箱ひげ図とデータの活用 1節 箱ひげ図	①箱ひげ図や四分位範囲の必要性と意味を知る。 ②四分位数や四分位範囲を求めたり、箱ひげ図に表したりすることができる。 ③箱ひげ図を読み取ることができる。	Dデータの活用(1) ア(ア) ア(イ) イ(ア)	◇知識・技能 ☆思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度	◇箱ひげ図や四分位範囲の必要性と意味を理解することができる。 ◇コンピュータなどの情報手段を用いるなどしてデータを整理し、箱ひげ図で表すことができる。 ☆箱ひげ図や四分位範囲を用いてデータの分布の傾向を比較して読み取り、批判的に考察し判断することができる。 ○箱ひげ図や四分位範囲のよさを実感し粘り強く考え、箱ひげ図や四分位範囲について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、箱ひげ図や四分位範囲を活用した問題解決の家庭をふり返って評価・改善しようとしたり、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとしたりすることができる。	
	3 月						

令和8年度 年間指導計画・評価計画 【2年 理科】 担当：下出・加瀬

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
1 学 期	4 月	単元1 化学変化と原子・分子 第1章 物質の成り立ち 第2章 物質どうしの化学変化	物質を分解する実験を通して、分解して生成した物質はもとの物質とは異なることを見いだして理解する。また、物質は原子や分子からできていることを理解するとともに、物質を構成する原子の種類は記号で表されることを知る。	◆1分野(4)ア(ア) ㉗, ㉘	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	物質の分解、原子・分子についての基本的な概念や原理・法則などを理解し、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。物質の成り立ちについて観察、実験などを行い、化学変化における物質の変化を見いだして表現する等、科学的に探求している。	行動観察 実験プリント ワークシート 小テスト 定期考査
		単元2 生物のからだのつくりとはたらき 第1章 生物と細胞	生物のからだのつくりとはたらきとの関係に着目しながら、生物と細胞について理解する。	◆2分野(3)ア(ア) ㉗		生物と細胞についての基本的な概念や原理・法則などを理解し、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。生物の体のつくりと働きについての規則性や関係性を見いだして表現する等、科学的に探求している。	
	5 月	単元1 化学変化と原子・分子 第2章 物質どうしの化学変化 第3章 酸素がかかわる化学変化	2種類の物質を反応させる実験を通して、反応前とは異なる物質が生成することを見いだして理解するとともに、化学変化は原子や分子のモデルを説明できること、化合物の組成は化学式で表されること、化学変化は化学反応式で表されることを理解する。酸化や還元の実験を通して、酸化や還元は酸素が関係する反応であることを見いだして理解する。	◆1分野(4)ア(イ) ㉗, ㉘	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	化学変化、化学変化における酸化と還元についての基本的な概念や原理・法則などを理解し、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。化学変化について観察、実験などを行い、化学変化における物質の変化を見いだして表現する等、科学的に探求している。	行動観察 実験プリント ワークシート 小テスト 定期考査
		単元2 生物のからだのつくりとはたらき 第1章 生物と細胞	生物のからだのつくりとはたらきとの関係に着目しながら、生物と細胞について理解する。	◆2分野(3)ア(イ) ㉗		生物と細胞についての基本的な概念や原理・法則などを理解し、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。生物の体のつくりと働きについての規則性や関係性を見いだして表現する等、科学的に探求している。	
	6 月	単元1 化学変化と原子・分子 第4章 化学変化と物質の質量 第5章 科学変化とその利用	化学変化の前後における物質の質量を測定する実験を通して、反応物の質量の総和と生成物の質量の総和が等しいことを見いだして理解する。また、化学変化に関係する物質の質量を測定する実験を通して、反応する物質の質量の間には一定の関係があることを見いだして理解する。	◆1分野(4)ア(ウ) ㉗, ㉘	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	化学変化と質量の保存、質量変化の規則性についての基本的な概念や原理・法則などを理解し、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。化学変化と物質の質量について観察、実験などを行い、化学変化における物質の変化やその量的な関係を見いだして表現する等、科学的に探求している。	行動観察 実験プリント ワークシート 小テスト 定期考査
		単元2 生物のからだのつくりとはたらき 第2章 植物のからだのつくりとはたらき	植物のからだのつくりとはたらきとの関係に着目しながら、葉・茎・根のつくりとはたらきについて理解する。	◆2分野(3)ア(ウ) ㉗, ㉘		根・茎・葉のつくりと働きについての基本的な概念や原理・法則などを理解し、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。	
7 月	単元1 化学変化と原子・分子 第5章 化学変化とその利用 単元4 電気の世界 第1章 静電気と電流	化学変化によって熱をとり出す実験を通して、化学変化には熱の出入りがともなうことを見いだして理解する。 静電気の性質および静電気と電流には関係があることや、静電気と放電を関連させ、放射線の性質と利用について理解する。	◆1分野(4)ア(イ) ㉗ ◆1分野(3)ア(ア) ㉘	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	化学変化と熱についての基本的な概念や原理・法則などを理解している。 静電気と電流についての基本的な概念や原理・法則などを理解し、静電気と電流に関する現象について、観察、実験などを行い、静電気の規則性や関係性を見いだして表現する等、科学的に探求している。	行動観察 実験プリント ワークシート 小テスト 定期考査	
	単元2 生物のからだのつくりとはたらき 第2章 植物のからだのつくりとはたらき	植物のからだのつくりとはたらきとの関係に着目しながら、葉・茎・根のつくりとはたらきについて理解する。	◆2分野(3)ア(イ) ㉗, ㉘		植物の体のつくりと働きについての規則性や関係性を見いだして表現する等、科学的に探求している。植物の体のつくりと働きに関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探求しようとしている。		

令和8年度 年間指導計画・評価計画 【2年 理科】 担当：下出・加瀬

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名(教材名)	単元のねらい	学習指導要領の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
2 学期	9 月	単元4 電気の世界 第2章 電流の性質	電流に関する観察、実験を通して、電流、電圧のはたらきを理解するとともに、回路の各点に流れる電流や、各部分の電圧について調べる技能を身につける。	◆1分野(3)ア(ア) ㉗, ㉘, ㉙	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	回路と電流・電圧、電流・電圧と抵抗、電気とそのエネルギーについての基本的な概念や原理・法則などを理解し、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。電流に関する現象について実験などを行い、電流と電圧、電流の働きの規則性や関係性を見いだして表現する等、科学的に探求している。	行動観察 実験プリント ワークシート 小テスト 定期考査
		単元2 生物のからだのつくりとはたらき 第2章 植物のからだのつくりとはたらき	植物のからだのつくりとはたらきとの関係に着目しながら、葉・茎・根のつくりとはたらきについて理解する。	◆2分野(3)ア(イ) ㉗, ㉘		植物の体のつくりと働きについての規則性や関係性を見いだして表現する等、科学的に探求している。植物の体のつくりと働きに関する事象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探求しようとしている。	
	10 月	単元4 電気の世界 第2章 電流の性質 第3章 電流と磁界	磁界と磁力線との関係、電流の磁気作用に関する基本的な概念を観察、実験を通して理解する。 磁界と磁力線との関係、電流の磁気作用に関する基本的な概念を理解する。	◆1分野(3)ア(イ) ㉗, ㉘	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	電流がつくる磁界、磁界中の電流が受ける力、電磁誘導と発電についての基本的な概念や原理・法則などを理解し、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。電流と磁界の規則性や関係性を見いだして表現する等、科学的に探求している。	行動観察 実験プリント ワークシート 小テスト 定期考査
		単元2 生物のからだのつくりとはたらき 第2章 植物のからだのつくりとはたらき 第3章 動物のからだのつくりとはたらき	植物のからだのつくりとはたらきとの関係に着目しながら、葉・茎・根のつくりとはたらきについて理解する。 動物のからだのつくりとはたらきとの関係に着目しながら、動物が生命を維持するはたらきについて理解する。	◆2分野(3)ア(ウ) ㉗, ㉘		植物の体のつくりと働きについての規則性や関係性を見いだして表現する等、科学的に探求している。植物の体のつくりと働きに関する事象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探求しようとしている。	
	11 月	単元4 電気の世界 第3章 電流と磁界	磁界と磁力線との関係、電流の磁気作用に関する基本的な概念を観察、実験を通して理解する。	◆1分野(3)ア(イ) ㉘, ㉙	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	電流がつくる磁界、磁界中の電流が受ける力、電磁誘導と発電についての基本的な概念や原理・法則などを理解し、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。電流と磁界の規則性や関係性を見いだして表現する等、科学的に探求している。	行動観察 実験プリント ワークシート 小テスト 定期考査
		単元2 生物のからだのつくりとはたらき 第3章 動物のからだのつくりとはたらき	動物のからだのつくりとはたらきとの関係に着目しながら、動物が生命を維持するはたらきについて理解する。	◆2分野(3)ア(ウ) ㉗, ㉘		生命を維持する働き、刺激と反応についての基本的な概念や原理・法則などを理解し、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。動物の体のつくりと働きについての規則性や関係性を見いだして表現する等、科学的に探求している。	
12 月	単元4 電気の世界 第3章 電流と磁界	磁界と磁力線との関係、電流の磁気作用に関する基本的な概念を観察、実験を通して理解する。 気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、気象要素、気象観測、霧や雲の発生などについての基本的な原理・法則などを理解する。	◆1分野(3)ア(イ) ㉗ ◆2分野(4)ア(ア) ㉗	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	気圧と風についての基本的な概念や原理・法則などを理解し、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。天気の変化についての規則性や関係性を見いだして表現する等、科学的に探求している。	行動観察 実験プリント ワークシート 小テスト 定期考査	
	単元2 生物のからだのつくりとはたらき 第3章 動物のからだのつくりとはたらき	動物のからだのつくりとはたらきとの関係に着目しながら、動物が生命を維持するはたらきについて理解する。	◆2分野(3)ア(ウ) ㉗, ㉘		生命を維持する働き、刺激と反応についての基本的な概念や原理・法則などを理解し、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。動物の体のつくりと働きについての規則性や関係性を見いだして表現する等、科学的に探求している。		

令和8年度 年間指導計画・評価計画 【2年 理科】

担当：下出・加瀬

指導の観点：知識・技能

思考・判断・表現

主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名(教材名)	単元のねらい	学習指導要領の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
3 学期	1 月	単元3 天気と 第1章 気象の観測	気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、気象要素、気象観測、霧や雲の発生などについての基本的な原理・法則などを理解する。	◆2分野(4)ア(ア) ㉗、㉘	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	気象要素、気象観測についての基本的な概念や原理・法則などを理解し、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。天気の変化についての規則性や関係性を見いだして表現する等、科学的に探求している。	行動観察 実験プリント ワークシート 小テスト 定期考査
		単元2 生物のからだの 第3章 動物のからだの つくりとはたらき	動物のからだのつくりとはたらきとの関係に着目しながら、動物が生命を維持するはたらきについて理解する。			生命を維持する働き、刺激と反応についての基本的な概念や原理・法則などを理解し、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。動物の体のつくりと働きについての規則性や関係性を見いだして表現する等、科学的に探求している。	
	2 月	単元3 天気と 第2章 雲のでき方と前線	気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、霧や雲の発生、前線の通過と天気の変化などについての基本的な原理・法則などを理解する。	◆2分野(4)ア(イ) ㉗、㉘	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	前線の通過と天気の変化についての基本的な概念や原理・法則などを理解し、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。	行動観察 実験プリント ワークシート 小テスト 定期考査
		単元2 生物のからだの 第3章 動物のからだの 第4章 刺激と反応 つくりとはたらき	動物のからだのつくりとはたらきとの関係に着目しながら、刺激と反応について理解する。			生命を維持する働き、刺激と反応についての基本的な概念や原理・法則などを理解し、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。動物の体のつくりと働きについての規則性や関係性を見いだして表現する等、科学的に探求している。	
	3 月	単元3 天気と 第3章 大気の動きと日本の 天気	気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、日本の天気の特徴、大気の動きと海洋の影響、自然のめぐみと気象災害などについての基本的な原理・法則などを理解する。	◆2分野(4)ア(ウ) ㉗、㉘ ◆2分野(4)ア(エ) ㉗	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	天気の変化についての規則性や関係性を見いだして表現する等、科学的に探求している。日本の天気の特徴、大気の動きと海洋の影響についての基本的な概念や原理・法則などを理解し、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。日本の気象についての規則性や関係性を見いだして表現する等、科学的に探求している。	行動観察 実験プリント ワークシート 小テスト 定期考査
		単元2 生物のからだの 第4章 刺激と反応 つくりとはたらき	動物のからだのつくりとはたらきとの関係に着目しながら、刺激と反応について理解する。			生命を維持する働き、刺激と反応についての基本的な概念や原理・法則などを理解し、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。動物の体のつくりと働きについての規則性や関係性を見いだして表現する等、科学的に探求している。	

令和8年度 年間指導計画・評価計画 【2年 音楽科】 担当：樋口紘子

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	題材名【教材名】	題材のねらい	学習指導要領の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
1 学期	4 月	声部の役割 混声3部合唱『翼をください』	声部の役割と全体の響きのかかわりを理解して歌おう	歌唱-ア・イ	知識・技能 思考・表現 主体的に学習に取り組む態度	曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、発音、身体の使い方など技能を身に付け歌唱で表している。 音色、リズム、旋律、強弱、形式を知覚し曲に相応しい歌唱表現としてどのように表すか思いや意図をもっている。	観察 ワークシート 定期テスト
	5 月	夏の思い出	音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。	歌唱-ア・イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 音色、リズム、旋律、強弱、形式を知覚し曲に相応しい歌唱表現としてどのように表すか思いや意図をもっている。	観察 ワークシート 実技試験 定期テスト
	6 月 7 月	声部の役割の理解 『フーガト短調』 合唱コンクール課題曲・自由曲 【曲目未定】	音楽の構造や曲の背景との関わりについて理解し、曲や演奏に対する評価と根拠について考え音楽のよさや美しさを味わって聴く。 パートの役割と全体の響きとのかかわりを理解し、曲にふさわしい表現を仲間と一緒に工夫して表情豊かに合唱する。	鑑賞-ア・イ 歌唱-ア・イ・ウ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 音色、テクスチュア、形式を知覚し曲や演奏の評価と根拠を考えよさや美しさを味わって聴いている。 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 音色、リズム、旋律、強弱、形式を知覚し、曲に相応しい歌唱表現としてどのように表すか思いや意図をもっている。 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体	観察 定期テスト ワークシート 定期考査

令和8年度 年間指導計画・評価計画 【2年 音楽科】 担当：樋口紘子

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	題材名（教材名）	題材のねらい	学習指導要領の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
2 学 期	9 月	合唱コンクール課題曲・自由曲 【曲目未定】	パートの役割と全体の響きとのかかわりを理解し、曲にふさわしい表現を仲間と一緒に工夫して表情豊かに合唱する。	歌唱-ア・イ・ウ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、発音、身体の使い方など技能を身に付け、歌唱で表している。 音色、リズム、旋律、強弱、形式を知覚し曲に相応しい歌唱表現としてどのように表すか思いや意図をもっている。 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 実技試験 定期テスト
	1 0 月	合唱コンクール課題曲・自由曲 【曲目未定】 曲の構成の理解 Beethoven『交響曲第5番』	音楽の構造を意識して、管弦楽の豊かな響きを鑑賞しよう	鑑賞-ア・イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 音色、テクスチュア、形式を知覚し曲や演奏の評価と根拠を考えよさや美しさを味わって聴いている。	観察 ワークシート 定期テスト
	1 1 月	歌舞伎とオペラ それぞれのよさを味わう 『勧進帳』	歌舞伎の特徴を感じ取りながら、舞台芸術を楽しもう 長唄の特徴をとらえて表現・鑑賞し、よさを味わう	鑑賞-ア・イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。 音色、リズム、速度、旋律を知覚し曲や演奏の評価と根拠を考え、美しさを味わって聴いている。	観察 ワークシート 定期テスト
	1 2 月	歌舞伎とオペラ それぞれのよさを味わう 『アイダ』	オペラの特徴を感じ取りながら、舞台芸術を楽しもう	鑑賞-ア・イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。 音色、リズム、速度、旋律を知覚し曲や演奏の評価と根拠を考え、美しさを味わって聴いている。	観察 ワークシート 定期テスト

令和8年度 年間指導計画・評価計画 【2年 音楽科】 担当：樋口絢子

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	題材名（教材名）	題材のねらい	学習指導要領の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
3 学期	1 月	三味線	楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解するとともに、それらを生かした器楽表現を創意工夫して演奏する。	器楽-ア・イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	楽器の音色や響きと奏法の関わりについて理解している。 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、器楽で表している。 音色、リズム、速度、旋律を知覚し、曲にふさわしい器楽表現としてどのように表すか思いや意図をもっている。 楽器の音色や響きと奏法との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 実技試験 定期テスト
	2 ・ 3 月	世界の諸民族の音楽 国歌【君が代】 卒業式式歌【曲目未定】 歌唱実技試験	諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性を理解するとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。	鑑賞-ア・イ 歌唱-ア・イ	知覚・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。 音色、リズム、旋律、テクスチャを知覚し、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 音色、リズム、旋律、強弱、形式を知覚し、曲に相応しい歌唱表現としてどのように表すか思いや意図をもっている。 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 定期テスト 観察 ワークシート 実技試験

令和8年度 年間指導計画・評価計画 【2年 美術科】 担当：上村 千穂 桐山 侑紀

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
1 学期	4月	オリエンテーション 鑑賞「最後の晩餐」 ・一点透視図で描いてみよう 「立体的に表現する」 ・斜投影図・等角投影図	○一年間の学習の流れや目標を把握できるようにする。 ○レオナルド・ダ・ヴィンチ「最後の晩餐」を鑑賞し作者の心情と意図や工夫を見つけられるようにする。 ○投影図法の特徴をつかみ、それぞれの投影図法を使って描けるようにする。 ○形の位置関係を把握し、描く線を考えることや様々な形の独自の世界を描けるようにする。 ○投影図法に興味を持って意欲的に形を追求し、独自の世界を描こうとする態度を持たせる。	B鑑賞(1)-ア A表現(1)イ-(ア) A表現(2)-ア-(ア)イ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	・作品を鑑賞し、よさや美しさを感じ、作者の心情と意図や工夫を見つけられることができる。 ・投影図の特徴を理解し、ブロックを縦や横に積み上げて街の形を作ることができる。 ・投影図法を使ったブロックを積み上げたり、つなげたり、形を変形させたりするなどして独自の世界観を表現できる。 ・投影図法に興味を持って形の変化を意欲的に追求し、独自の世界を描こうとする態度である。	プリント評価 授業観察
	5月	「立体的に表現する」 ・一点透視図法 ・私の部屋を紹介します(線描き)	○一点透視図法の特徴をつかみ、透視図法を使って形を描けるようにする。 ○透視図法を使って、部屋の奥行きや家具の大きさのバランスを考え、立体的に雰囲気のある部屋を表現できるようにする。 ○透視図法による表現に関心を持ち、意欲的に取り組むことが出来るように身近な空間である部屋を題材に表現できるようにする。	A表現(2)-ア-(ア)イ 共通事項(1)-ア	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	・一点透視図法の特徴を理解し、透視図法を使って正確に立体を描くことが出来る。 ・部屋の奥行きや家具の立体感、置かれている物を一点透視図法を用いて表現することができる。 ・透視図法による表現に関心を持ち、意欲的に表現に取り組むことができる。	授業観察 プリント評価 作品評価
	6月	「立体的に表現する」 ・私の部屋を紹介します(着色) ・作品相互鑑賞 ・定期考査	○立体の三面に明度の変化をつけることで立体感が増すことに気づかせ、表現できるようにする。 ○家具などにどのような着色をすると部屋の奥行きや立体感、雰囲気が出るか考えを深めて表現ができるようにする。 ○着色での立体感の表現に関心を持ち意欲的に取り組み、見通しを持って制作をすることができるようにする。 ○友人の作品を鑑賞し、良さや工夫点を見つけ、自分の作品を振り返られるようにする。	A表現(2)-ア(ア)イ 共通事項(1)-ア	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	・立体的に表現するためには三面を塗り分ける必要があることに気づき、明度の変化をつけて表現することができる。 ・部屋の奥行きや家具などの立体感を表現する工夫を考えて着色し、部屋の雰囲気が出るように表現することができる。 ・着色での立体感の表現に興味を持って意欲的に模索し、より良い作品にするために試行錯誤するなど主体的に学ぶことができる。 ・友人の作品を鑑賞し、良さや雰囲気を感じ取り	授業観察 作品評価 プリント評価 期末考査
	7月	「立体的に表現する」 ・陰影を使った立体の表現	○立方体と球の陰影の変化について理解し鉛筆などの使い方を工夫して、自然な陰影を描けるようにする。 ○立方体と球の陰影の変化を実際の形を観察して理解を深め、自然な陰影を描くために鉛筆などの使い方を工夫して表現できるようにする。 ○主体的に制作や鑑賞活動に参加し、学びを深められるようにする。	A表現(2)-ア(ア)イ 共通事項(1)-ア B鑑賞(1)-ア-(ア)	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	・立方体と球の陰影の変化について理解し、鉛筆などの使い方を工夫して自然な陰影をえがくことができる。 ・友人の作品から良さや美しさ表現の工夫点を見つけ、自分の作品を振り返ることができる。 ・主体的に制作や鑑賞活動に参加し、自分の考えを持って次回への制作につなげる学びにすることができる。	授業観察 作品評価 プリント評価 自己評価

令和8年度 年間指導計画・評価計画 【2年 美術科】 担当：上村 千穂 桐山 侑紀

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名(教材名)	単元のねらい	学習指導要領の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
2 学 期	9 月	鑑賞 「日本の伝統工芸」 「作って使って味わう工芸」 ～組み木づくり～ 作品の構想を練る アイディアスケッチ 組木の接合	○伝統工芸の技のすばらしさや作品の美しさ、作者の創造的な工夫などについて考え鑑賞することができるようにする。 ○使う人の気持ちを考えてデザインし、使い勝手の良い工芸品の形を考えることができるようにする。 ○3色の木の色を効果的に組み合わせ独自の美しい模様を追求しようとするようにする。	B鑑賞(1)-ア-(イ) A表現(1)-イ-(ア)(ウ) 共通事項(1)-アイ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	・教科書や参考作品を鑑賞し、伝統工芸品の技や作者の思い、工夫を感じ取り自分の考えを持つことができる。 ・使う人の気持ちを考え、美しく使いやすい作品の構想を練ることができる。 ・組み木の美しさを感じ、木の色の美しさを生かした組み合わせを考えることができる。	プリント評価 授業観察 アイディアスケッチ 自己評価
	1 0 月	「作って使って味わう工芸」 ～組み木づくり～ 組木の接合、組み立て	○用具の特性を生かし、自分の表したい作品に合った方法や用具を選択し、手順を考えながら見通しを持って制作を進められるようにする。 ○立体作品を作るうえで構造を理解し、どのように組み立て、形作っていけばいいか構想を練り表現できるようにする。 ○自分の考えや見方を深めながら、主体的に制作に取り組めるようにする。	A表現(2)-ア-(ア)(イ) 共通事項(1)-ア	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	・表現したい模様や形に合った組み立て方や用具を選択し、手順を考えながら効果的に正しく使用できている。 ・表現したい形の構造から制作手順や方法を構想し、表現することができる。 ・使う人の気持ちを考え、どうしたら美しく使いやすい道具をつくることができるか考え、主体的に制作に取り組むことができる。	授業観察 作品評価 自己評価
	1 1 月	「作って使って味わう工芸」 ～組み木づくり～ 定期考査	○道具の正しい使用方法や材料の特性を理解し、安全に作業できるようにする。 ○使う人の気持ちになって丁寧に作業を進め、見通しを持って制作を進めることができるようにする。 ○授業で学んだ知識や技能が定着し、今後の制作活動に生かせるようにテスト対策を行う。	A表現(2)-ア-(ア)(イ)	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	・材料や用具の特性を生かし意図に応じて自分の表現方法を追求し創造的に表すことができる。 ・表現したい形に合った道具を選択し、手順を考えながら効果的に正しく使用できている。 ・授業で学んだ知識や技能が定着できている。	授業観察 作品評価 自己評価 定期考査
	1 2 月	「作って使って味わう工芸」 ～組み木づくり～ ニス塗り 作品相互鑑賞	○計画に沿った制作になっているか見直し、よりよく仕上げを行うことができるようにする。 ○友人の作品を鑑賞しよさや美しさ、工夫を見つけることができるようにする。さらに、自らの制作を振り返り、友人の工夫から自分の制作に生かせることを学び取れるようにする。	A表現(2)-ア-(ア)(イ) B鑑賞(1)-ア-(イ)	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	・道具の特性を理解し、丁寧に仕上げを行うことができる。 ・友人の作品から良さや美しさを感じ、用途や道具としての工夫を見つけることができる。また、自分の制作に生かせることを学び取ることができる。	授業観察 作品評価 自己評価 プリント評価

令和8年度 年間指導計画・評価計画 【2年 美術科】 担当：上村 千穂 桐山 侑紀

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名 (教材名)	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
3 学期	1 月	「わかりやすく情報を伝える」 ～ピクトグラム制作～ 参考作品鑑賞 アイディアスケッチ 本作品制作	○東京オリンピックで使われたピクトグラムを鑑賞し、形や色彩などによる伝達の効果を見つけることができるようにする。 ○学校や地域で人に伝えたい場面を想定し、見る人のためになるピクトグラムを考えることができるようにする。 ○ひと目で伝わるピクトグラムをデザインすることに関心を持ち意欲的に取り組めるようにする。	B鑑賞(1)-イ-(ア) 共通事項(1)-ア A表現(1)-イ-(イ)	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	・参考作品を鑑賞し、伝えたい内容を表すための表現の工夫、配色や簡略化した形の効果に気づくことができる。 ・伝えるためのデザインであることを考え、具体物を強調や省略することにより伝わりやすい表現の構想を練ることができる。 ・進んで課題に取り組み、自らの主題を生み出し、表現するために計画的に制作を進めることができる。	プリント評価 授業観察 アイディアスケッチ 自己評価
	2 月	「わかりやすく情報を伝える」 ～ピクトグラム制作～	○伝えたい内容やイメージ、伝える場面などをもとに、行為を表す形や色彩などによる伝達の効果を考え、構想を練ることができるようにする。 ○道具や絵具などの特性から手順を考え、見通しを持って表すことができるようにする。	A表現(2)-ア-(ア)(イ) 共通事項(1)-ア	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	・主題を表現するために効果的な形や配色を考え制作に生かすことができる。 ・定規やマスキングなど自分の主題に合った道具を選択して手順を考え、丁寧に制作を進めることができる。	授業観察 作品評価 自己評価
	3 月	「わかりやすく情報を伝える」 ～ピクトグラム制作～ 作品相互鑑賞 一年間のまとめ・振り返り	○友人の作品を鑑賞し、使用する場所や伝えたい相手に伝わる工夫を見つけることができるようにする。 ○一年間の学習を振り返り、生活を豊かにする美術の働きについて考えさせ、次年度の学習につなげることができるようにする。	B鑑賞(1)-イ-(ア)	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	・友人の作品から使う目的や機能との調和のとれた良さや美しさを感じ取り、用途と制作の工夫点について考え見方や感じ方を深めることができる。 ・一年間の学習から生活を豊かにする美術の働きについて考えることができる。	授業観察 作品評価 自己評価 プリント評価

令和8年度 年間指導計画・評価計画【2年 保健体育科】担当：村上 正樹

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
1 学期	4 月	A 体づくり運動 授業についてのオリエンテーション (集団行動・方向転換・ラジオ体操)	(1) 一定の集団がひとまとまりになり、行動するときの基本動作のきまりや、方向転換、集合・整とん、列の増減、行進などができるようにする。 (2) きまりを理解し、能率よく行動できるようにする。 (3) 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体力を高め、目的に適した運動を身につけ、組み合わせることができるようにする。 (4) 体づくり運動に積極的に取り組むとともに、分担した役割を果たそうとすることなどや、健康・安全に気を配ることができるようにする。 (5) 体づくり運動の意義と行い方などを理解し課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	ア. 体ほぐし運動 イ. 体力を高める運動	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・体を動かす楽しさや心地よさを味わおうとしている。 ・自分の体力や目的にあった運動を選び、組み合わせることができる。 ・体ほぐしの運動・・・心と体は互いに影響し変化することに気づき、体の状態に応じて体の調子を整え、仲間と積極的に交流するための手軽な運動や律動的な運動を行うことができる。 ・体力を高める運動・・・ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力向上を図るための運動の計画を立てて取り組むことができる。 ・体づくり運動の意義とその行い方を知っている。	・授業観察 ・発言内容 ・学習カード ・実技テスト ・振り返りカード ・期末考査
	5 月・ 6 月	C 陸上競技	(1) 陸上競技の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、基本的な動きや効率のよい動きを身につけることができるようにする。 (2) 陸上競技に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすることなどや、健康安全に気を配ることができるようにする。 (3) 陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	ア. 短距離走 リレー ハードル走 イ. 走り幅跳び	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・全力で競技したり記録を向上させたりする陸上競技の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・互いに協力し、励まし合いながら練習や競技を行おうとしている。 ・自分の能力に応じた目標記録や課題に対し、練習を創意・工夫・思考することができる。 ・技能を高めたり、記録を高めたりすることができる。 ・特性や成り立ち、安全な学習の進め方を理解している。	・授業観察 ・発言内容 ・学習カード ・実技テスト ・振り返りカード ・期末考査
	7 月	D 水泳	(1) 水泳の運動について、記録の向上や競争の楽しさを味わい、泳法を身につけるようにする。 (2) 水泳に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすることなどや水泳の事故防止に関する心得など健康・安全に気を配ることができるようにする。 (3) 水泳の特性や成り立ち、技術の名称や関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	ア. クロール イ. 平泳ぎ ウ. 背泳ぎ	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・続けて長く泳ぐ、速く泳いだり競争したりする水泳の楽しさや喜びを味わおうとし、技能を高めることができる。 ・目標を達成するための課題に対し、創意・工夫・思考することをしている。 ・水泳の事故防止の心得や安全な行動のしかたを理解し、知識をもっている。また、それに準じた行動ができる。 ・水泳の特性に応じた技能を練習で身につけ、技術の名称、運動のポイントなどを理解している。	・授業観察 ・発言内容 ・学習カード ・実技テスト ・振り返りカード ・期末考査

令和8年度 年間指導計画・評価計画【2年 保健体育科】担当：村上 正樹

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名(教材名)	単元のねらい	学習指導要領の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
2 学期	9 ・ 10 月	E 球技	(1) 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームが展開できるようにする。 (2) 積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとするなどや健康・安全に気を配ることができるようにする。 (3) 特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	イ、ネット型 「バレーボール」	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・作戦を立てたりルールを工夫したりして勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・用具や練習場所の安全に留意し、種目の特性を知り、学習の進め方や知識を理解している。 ・ルールを守り、勝敗や結果を受け入れようとしている。 ・練習やゲームを通してチームや自分の課題を知り、互いに創意・工夫・思考し、技能を高めることができる。 ・ルールや審判のしかたを理解している。 ・作戦を立てたりルールを工夫したりして勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・ルールを守り、勝敗や結果を受け入れようとしている。	・授業観察 ・発言内容 ・学習カード ・実技テスト ・振り返りカード ・期末考査
		B 器械運動	(1) 器械運動について、技ができる楽しさや喜びを味わい、その技がより良くなるようにする。 (2) 器械運動に積極的に取り組むとともに、よい演技を認めようとする、分担した役割を果たそうとすることなどや、健康・安全に気を配ることができるようにする。 (3) 器械運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	ア、マット運動 エ、跳び箱運動	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・技がよくできたり、自分に適したレベルの技を習得したりする器械運動の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・施設、用具の安全や、安全な行動に留意している。 ・課題に応じた運動の取り組み方を創意・工夫・思考している。 ・基本的な技を滑らかに行うことができる。 ・器械運動の特性や成り立ち、技の名称や体の使い方を理解している。	・授業観察 ・発言内容 ・学習カード ・実技テスト ・振り返りカード ・期末考査
	1 1 ・ 1 2 月	F 武道	(1) 柔道の運動について、技ができる楽しさや喜びを味わい、基本動作や基本となる受け身や技ができるようにする。 (2) 柔道に積極的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすることなどや、禁じ技を用いないなど健康・安全に気を配ることができるようにする。 (3) 柔道の特性や成り立ち、伝統的な考え方、技の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	ア、柔道	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・礼儀作法を重んじて、相手を尊重し、自分を律する態度をとろうとしている。 ・用具や会場の安全を確かめたり、受け身の技能を高め、禁じ手を用いないなど、安全に留意している。 ・自分に対しての課題を創意・工夫・思考している。 ・各種の練習を通して、段階的、系統的に技能を身につけている。 ・柔道の特性や基本動作、対人的な技術構造、学習の進め方を理解している。 ・礼儀作法や競技のルール、知識を身につけている。	・授業観察 ・発言内容 ・学習カード ・実技テスト ・振り返りカード ・期末考査
		E 球技	(1) 運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームが展開できるようにする。 (2) 運動に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとするなどや健康・安全に気を配ることができるようにする。 (3) 運動の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	イ、ゴール型 「バスケットボール」 または ウ、ベースボール型 「ソフトボール」	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・作戦を立てたりルールを工夫したりして勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・用具や練習場所の安全に留意し、種目の特性を知り、学習の進め方や知識を理解している。 ・ルールを守り、勝敗や結果を受け入れようとしている。 ・練習やゲームを通してチームや自分の課題を知り、互いに創意・工夫・思考し、技能を高めることができる。 ・ルールや審判のしかたを理解している。 ・作戦を立てたりルールを工夫したりして勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・ルールを守り、勝敗や結果を受け入れようとしている。	・授業観察 ・発言内容 ・学習カード ・実技テスト ・振り返りカード ・期末考査

令和8年度 年間指導計画・評価計画【2年 保健体育科】担当：村上 正樹

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名(教材名)	単元のねらい	学習指導要領の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
3 学期	1 月	C 陸上競技	(1) 陸上競技の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、基本的な動きや効率のよい動きを身につけることができるようにする。 (2) 陸上競技に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすることなどや、健康安全に気を配ることができるようにする。 (3) 陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	ア. 長距離走	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・全力で競技したり、記録を向上させたりする陸上競技の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・互いに協力し、励まし合いながら練習や競技を行おうとしている。 ・自分の能力に適した目標記録や課題に対し、練習を創意・工夫・思考することができる。 ・技能を高めたり、記録を高めたりすることができる。 ・特性や成り立ち、安全な学習の進め方を理解している。	・授業観察 ・発言内容 ・学習カード ・実技テスト ・学年末考査
	2 月・ 3 月	G ダンス	(1) 感じを込めて踊ったりみんなで踊ったりする楽しさや喜びを味わい、イメージをとらえた表現や踊りを通じた交流ができるようにする。 (2) 互いに動きの良さを感じ方、表現の良さなどを認め合い、協力して練習したり、発表したり鑑賞できるようにする。 (3) ダンスの特性や学び方、鑑賞のポイントについて理解できるようにする。	イ. 創作ダンス	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・ダンスの楽しさや喜びを味わうことができるよう、互いの良さを認め合おうとしたり、分担した役割を果たそうとしている。健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。 ・ダンスを豊かに実践するための学習課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 ・ダンスの特性に応じて、交流できるよう、イメージを捉えた表現や踊りをするための動きを身に付けている。 ・ダンスの特性、踊りの由来と表現の仕方、関連して高まる体力などを理解している。	・授業観察 ・発言内容 ・学習カード ・実技テスト ・振り返りカード ・学年末考査
		E 球技	(1) 運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、基本的な技能や仲間と連携した動きでゲームが展開できるようにする。 (2) 運動に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとするなどや健康・安全に気を配ることができるようにする。 (3) 運動の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	ア. ゴール型「ハンドボール」 又は、「サッカー」	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	・作戦を立てたりルールを工夫したりして勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・用具や練習場所の安全に留意し、種目の特性を知り、学習の進め方や知識を理解している。 ・ルールを守り、勝敗や結果を受け入れようとしている。 ・練習やゲームを通してチームや自分の課題を知り、互いに創意・工夫・思考し、技能を高めることができる。 ・ルールや審判のしかたを理解している。 ・作戦を立てたりルールを工夫したりして勝敗を競い合う球技の楽しさや喜びを味わおうとしている。 ・ルールを守り、勝敗や結果を受け入れようとしている。	・授業観察 ・発言内容 ・学習カード ・実技テスト ・振り返りカード ・学年末考査

令和8年度 年間指導計画・評価計画【2年 保健体育科】担当：村上 正樹

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名(教材名)	単元のねらい	学習指導要領の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
保健・体育理論	1・2・3学期	体育理論	<ul style="list-style-type: none"> 運動やスポーツの効果・学び方・安全について理解できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 運動やスポーツの心身及び社会性に及ぼす効果 運動やスポーツの学び方 運動やスポーツの安全な行い方 	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 運動やスポーツは心身両面への効果が期待できることを理解している。また、運動やスポーツを行う際に適切な仲間との関わりを通して社会性が高まることを理解している。 運動やスポーツの課題を解決するための合理的な体の動かし方である技術と、個人の体力と関連している技能について理解している。 安全に運動やスポーツを行うために、発達の段階に応じた強度、時間、頻度に配慮した計画を立てることや、休憩や水分補給を行うこと共に活動する仲間の安全にも配慮する音などが重要であることを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発言内容 学習カード 学年末考査
		保健分野	<ul style="list-style-type: none"> 病気や健康にはどんなことが関わっているか理解できるようにする。生活習慣病を引き起こす要因と予防の仕方について理解できるようにする。 生活習慣の健康への影響について学び、喫煙・飲酒・薬物乱用を避けるための具体的な対処のしかたについて考えることができるようにする。 	「生活習慣の健康への影響」 <ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病 生活習慣病の予防 がんとその予防 生活習慣病・がんの「早期発見とその回復 喫煙と健康 飲酒と健康 喫煙・飲酒・薬物乱用のきつかけと対処 	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病やがんの予防に関心を持ち、課題の解決に向けた学習に自主的に取り組もうとしている。 習得した知識を自他の生活と比較したり、活用したりして、健康の保持増進をする方法を考えたり、選択したりしている。 喫煙・飲酒・薬物乱用の心身への害と社会への悪影響について、理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発言内容 学習カード 期末考査
		保健分野	<ul style="list-style-type: none"> 傷害の発生には様々な要因があり、それらに対する適切な対策によって傷害の多くは防止できること、また、応急手当は傷害の悪化を防止することができることを理解できるようにする。 	「けがの防止と応急手当」 <ul style="list-style-type: none"> ケガの原因と防止 交通事故の事態と原因 交通事故の防止 自然災害によるけがの防止 応急手当の意義と基本 心肺蘇生法の流れ 	主体的に学習に取り組む態度 思考・判断・表現 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 傷害の防止について、関心をもち、学習活動に積極的に取り組もうとしている。 傷害の防止について基礎的・基本的な内容について科学的に理解ができています。 傷害の発生要因とその防止及び応急手当並びに健康な生活行動の実践と疾病の予防について、個人生活を中心に科学的に理解できている。 	

令和8年度 年間指導計画・評価計画 【2年 技術科】 担当：齋藤優太

評価の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領の指導項目	評価の観点	評価規準	評価方法
1 学期		ガイダンス ・学習の見通し ・授業の約束ごとの確認					
	4 月	エネルギー変換の技術 ・エネルギー変換の技術を身に つけよう	エネルギー変換の技術の見方・考え方を働 かせた実践的・体験的な活動を通して、生 活や社会で利用されているエネルギー変換 の技術についての基礎的な理解を図り、そ れらに係る技能を身に付け、エネルギー変 換の技術と生活や社会、環境との関わり について理解を深めるとともに、生活や社会 の中からエネルギー変換の技術に関わる問 題を見いだして課題を設定し解決する力、 安全な社会の構築に向けて適切かつ誠実に エネルギー変換の技術を工夫し創造しよう とする実践的な態度を身に付ける。	C(1)アイ	知識・技能	・エネルギー変換の科学的な原理・法則を理解して いる。	定期テスト
	5 月	・電気に関する技術を知ろう			知識・技能	・練習作品の製作を通してエネルギー変換の基礎的 な技術の仕組みを理解している。	定期テスト ワークシート 作品
		・機械に関する技術を知ろう			知識・技能	・練習作品の製作を通して実習の安全な作業の進め 方を身に付けている。	定期テスト ワークシート 作品
・実習の安全な進め方を知ろう		主体的に学習に 取り組む態度			・進んでエネルギー変換の技術に関わり、主体的に 理解し、技術を身に付けようとしている。	ワークシート 行動観察	
6 月	・つくってみよう 「電気工作」	思考・判断・表 現	・技術に込められた問題解決の工夫について考えて いる。	ワークシート 作品			
	・問題を解決する工夫を考えよ う	知識・技能	・機器の保守・点検やエネルギーの安全な利用につ いて理解している。	ワークシート 定期テスト			
	・保守・点検のしかたを知ろう						
・電気の安全な使い方を知ろう							
7 月	・発電について知ろう						

令和8年度 年間指導計画・評価計画 【2年 技術科】 担当：齋藤優太

評価の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名（教材名）	単元のねらい	学習指導要領の指導項目	評価の観点	評価規準	評価方法
2 学 期	9 月	エネルギー変換の技術	エネルギー変換の技術の見方・考え方を働かせた実践的・体験的な活動を通して、生活や社会で利用されているエネルギー変換の技術についての基礎的な理解を図り、それらに係る技能を身に付け、エネルギー変換の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深めるとともに、生活や社会の中からエネルギー変換の技術に関わる問題を見いだして課題を設定し解決する力、安全な社会の構築に向けて適切かつ誠実にエネルギー変換の技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を身に付ける。	C(1)アイ	知識・技能	・エネルギー変換の科学的な原理・法則を理解している。	定期テスト ワークシート
		・エネルギー変換の技術を身に付けよう			知識・技能	・練習作品の製作を通してエネルギー変換の基礎的な技術の仕組みを理解している。	定期テスト ワークシート 作品
		・電気に関する技術を知ろう			知識・技能	・練習作品の製作を通して実習の安全な作業の進め方を身に付けている。	定期テスト ワークシート 作品
	・機械に関する技術を知ろう	主体的に学習に取り組む態度			・進んでエネルギー変換の技術に関わり、主体的に理解し、技術を身に付けようとしている。	ワークシート 行動観察	
10 月	・実習の安全な進め方を知ろう	思考・判断・表現	・技術に込められた問題解決の工夫について考えている。	ワークシート 作品			
	・つくってみよう 「ラジオ制作」	知識・技能	・機器の保守・点検やエネルギーの安全な利用について理解している。	ワークシート 定期テスト			
11 月	・問題を解決する工夫を考えよう						
	12 月	・保守・点検のしかたを知ろう					
		・電気の安全な使い方を知ろう					
		・発電について知ろう					

令和8年度 年間指導計画・評価計画 【2年 技術科】 担当：齋藤優太

評価の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名 (教材名)	単元のねらい	学習指導要領の指導項目	評価の観点	評価規準	評価方法
3 学期	1 月	情報の技術 ・ 社会の発展と情報の技術 未来の社会を創造しよう ・ 双方向性のあるコンテンツの技術を知ろう ・ 双方向性のあるコンテンツの設計のしかたを知ろう	情報の技術の見方・考え方を働かせた実践的・体験的な活動を通して、生活や社会で利用されている情報の技術についての基礎的な理解を図り、それらに係る技能を身に付け、情報の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深めるとともに、生活や社会の中から情報の技術に関わる問題を見いだして課題を設定し解決する力、よりよい生活や地域社会の構築に向けて、適切かつ誠実に情報の技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を身に付ける。	D(4)アイ	知識・技能	・ 情報の技術が、生活や社会に果たす役割や影響について理解している。	定期テスト ワークシート
	2 月	・ 設計を図で表す方法を知ろう ・ 設計に沿った双方向性のあるコンテンツを製作しよう			知識・技能	・ 情報の技術の概念を理解している。	ワークシート
		3 月				思考・判断・表現	・ より安全で持続可能な社会の実現に向けて、情報の技術の評価し、適切な技術の在り方について考えている。
			主体的に学習に取り組む態度	・ よりよい社会や持続可能な社会の構築に向けて、情報の技術を工夫し創造していこうとっている。	ワークシート 行動観察		
			知識・技能	・ これまでの学習から、技術の発展がよりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に果たす役割や影響を踏まえ、技術の概念を説明できる。	作品 ワークシート		
			思考・判断・表現	・ 情報通信ネットワークの構成と、情報を利用するための基本的な仕組みについて理解している。	ワークシート		
			知識・技能	・ コンテンツに用いる各種メディアの基本的な特徴について理解している。	定期テスト ワークシート		
			知識・技能	・ 設計の考え方や手順を理解している。	ワークシート		
			思考・判断・表現	・ 情報の技術の見方・考え方を働かせて、地域社会の中から問題を見いだして課題を設定している。	ワークシート		
			思考・判断・表現	・ 課題を解決するために、条件を踏まえて適切なメディアを選択し、構想を具体化して設計や計画をまとめている。	ワークシート		
			主体的に学習に取り組む態度	・ 自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるよう他者と協働して粘り強く改善・修正しようとしている。	ワークシート 行動観察		

令和8年度 年間指導計画・評価計画 【2年 家庭科】 担当：狩野 真紀子

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
1 学期	4月	B 衣食住の生活 1. 住まいのはたらきとこころよさ 2. 安全な住まいで安心な暮らし	<ul style="list-style-type: none"> ・住まいの役割と家族との関わりについて理解し、生活行為と必要な住空間について考えることができる。 ・日本の住まい方の特徴をあげることができる。災害に備えた住まい方を工夫できる。 	(6) アイ	B ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・住まいは人間の生活や時代に応じて変化していくことを理解できる。 ・住空間と生活行為との関係を理解する。 ・災害に備えた住まい方を工夫し、災害が起きた時の対策を考えることができる。 ・住空間について考え、実生活に役立てようとしている。 	授業への取り組み 期末試験 提出物
	5月						
	6月	B 衣食住の生活 3. 生活を豊かにするものの製作	<ul style="list-style-type: none"> ・生活を豊かにするような布を用いた物の製作について計画を立てることができる。 	B (5) アイ	①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・エプロンの製作を通して基礎的な衣服の補修に関する技能を身につけることができる。 ・用具を使用するときの安全に気をつけて製作することができる。 	授業への取り組み 期末試験 提出物
7月							

令和8年度 年間指導計画・評価計画

【 2年 家庭科 】

担当：狩野 真紀子

指導の観点：知識・技能

思考・判断・表現

主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名 (教材名)	単元のねらい	学習指導要領 の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
2 学期	9 月	1 衣食住の生活 3 さまざまな食品と その選択	・生鮮食品、加工食品の特徴を 理解する。情報を正確に読み 取って判断し、選択できるよう にする。	B (4) イ	①知識・技 能 ②思考・判 断・表現 ③主体的に 学習に取り 組む態度	・生鮮食品、加工食品の特徴を理解し ようとしている。	授業への 取り組み 期末試験 提出物
	10 月						
	11 月	4 日常食の調理 魚の調理 肉の調理 野菜の調理	・安全と衛生に気をつけて日常 食の調理をすることができる。 食品の調理上の性質を知り、適 切に調理することができる。	(3) アイ ウエ	B ①知識・技 能 ②思考・判 断・表現 ③主体的に 学習に取り 組む態度	・日常食の調理に関心をもっている。 ・肉、魚、野菜の調理上の性質を理解 できる。・肉・魚・野菜の調理に意欲 を持って取り組んでいる。	授業への 取り組み 期末試験 提出物
	12 月						

令和8年度 年間指導計画・評価計画

【 2年 家庭科 】

担当：狩野 真紀子

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名(教材名)	単元のねらい	学習指導要領の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
3 学期	1 月	C 消費生活・環境 1 家庭生活と消費 2 購入・支払いと生活情報 3 消費者被害と消費者の自立 4 持続可能な社会	<ul style="list-style-type: none"> ・契約について理解できる。 様々な販売方法と支払方法の特徴について理解できる。 ・商品を適切に選択、購入、活用することができる。 ・消費者トラブルの事例とその解決方法を理解できる。 	C (1) アイ (2) アイ	<ul style="list-style-type: none"> ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活にかかるお金の収入と消費のバランスの大切さを知る。 ・さまざまな購入・支払方法について知り、消費生活のトラブルを防ぐ。 ・消費者の権利と責任について理解する。 	授業への取り組み 期末試験 提出物
	2 月						
	3 月						

令和8年度 年間指導計画 ・ 評価計画 【 2年 英語 】 担当：中溝 亜矢美

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期 月	単元名【教材名】	単元のねらい	学習指導要領の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法	
1 学 期	4 月	Lesson 1 Meet New Friends Language Focus 1 時制の復習 Take Action! Listen 1 空港のアナウンス Take Action! Read 1 博物館のイベント	【復習】助動詞will・be going toの肯定文・疑問文 日本の学校について知ってもらうために、学校生活や行事について、詳しい説明や感想をつけ加えて、まとまりのある内容を話すことができる。 搭乗券に記載されている便に乗るために、(場所や時刻に着目し、) 空港のアナウンスを聞いて、必要な情報を捉えることができる。 相手の条件や要望に合うものをすすめるために、(できることや時間に着目し、) イベントの内容について書かれた案内を読んで、必要な情報を捉えることができる。	聞くこと 読むこと 話すこと(やり取り) 話すこと(発表) 書くこと	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	【知識】【技能】助動詞will, be going to ...の特徴やきまりに関する事項を理解している。 【思考・判断・表現】 (SP)日本の学校について知ってもらうために、学校生活や行事について、詳しい説明や感想をつけ加えて、まとまりのある内容を話している。 【主体的に学習に取り組む態度】 (SP)日本の学校について知ってもらうために、学校生活や行事について、詳しい説明や感想をつけ加えて、まとまりのある内容を話そうとしている。	小テスト ワークシート 行動観察 ノート
	5 月	Lesson 2 Fun with Books Language Focus 2 接続詞 Take Action! Listen 2 コンサートのお知らせ Take Action! Talk 1 買い物	日本語の勉強に役立ちそうな本や物語を紹介するために、登場人物などについて、すすめる理由をつけ加えて、まとまりのある文章を書くことができる。 イベントに参加するかどうかを決めるために、(目的や活動内容に着目し、) イベントの内容について話された案内を聞いて、要点を捉えることができる。 「提案する」「要望する」表現の意味や働きを理解し、それを含む文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする。	聞くこと 読むこと 話すこと(やり取り) 話すこと(発表) 書くこと	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	【知識】【技能】接続詞when, ifやthatを用いた文の構造を理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。また、それを含む文を用いて話したり、正確に書いたりすることができる。 【思考・判断・表現】 (W)日本語の勉強に役立ちそうな本や物語を紹介するために、登場人物などについて、すすめる理由をつけ加えて、まとまりのある文章を書いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 (W)日本語の勉強に役立ちそうな本や物語を紹介するために、登場人物などについて、すすめる理由をつけ加えて、まとまりのある文章を書こうとしている。	定期考査 小テスト ワークシート パフォーマンステスト 行動観察 ノート ワーク
	6 月	Lesson 3 My Dream Language Focus 3 to+動詞の原形【to不定詞】、must Take Action! Listen 3 ボイスメッセージ	経歴をまとめるために、(問題と解決策を整理し、)『捨てないパン屋』の田村陽至さんについて書かれた記事を読んで、概要を捉えることができる。 ボイスメッセージを聞いて、必要な情報を捉える。	聞くこと 読むこと 話すこと(やり取り) 話すこと(発表) 書くこと	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	【知識】【技能】to不定詞(名詞用法・副詞用法・形容詞用法)、助動詞mustの特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を聞いたり、読んだりして、内容を捉えることができる。 ・to不定詞(名詞用法)の特徴やきまりに関する事項を理解し、それを含む文を用いて伝え合ったり、話したり、正確に書いたりすることができる。 また、それを含む文を用いて伝え合ったり、正確に書いたりすることができる。 【思考・判断・表現】 (R)経歴をまとめるために、(問題と解決策を整理し、)『捨てないパン屋』の田村陽至さんについて書かれた記事を読んで、概要を捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 (R)経歴をまとめるために、(問題と解決策を整理し、)『捨てないパン屋』の田村陽至さんについて書かれた記事を読んで、概要を捉えようとしている。	定期考査 小テスト ワークシート パフォーマンステスト 行動観察 ノート ワーク
7 月	Project 1 スピーチ「My Dream」 Reading Lesson 1 The Tale of Peter Rabbit	スピーチコンテストに参加するために、自分が将来したいことや夢について、伝えたいことを整理し、理由やきっかけをつけ加えて、まとまりのある内容を話すことができる。 物語のあらすじをまとめるために、気持ちの移り変わりに着目し、ピーターラビットの冒険物語を読んで、概要を捉えることができる。	聞くこと 読むこと 話すこと(発表) 書くこと	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	【思考・判断・表現】 (SP)スピーチコンテストに参加するために、自分が将来したいことや夢について、伝えたいことを整理し、理由やきっかけをつけ加えて、まとまりのある内容を話している。 【主体的に学習に取り組む態度】 (SP)スピーチコンテストに参加するために、自分が将来したいことや夢について、伝えたいことを整理し、理由やきっかけをつけ加えて、まとまりのある内容を話そうとしている。 【思考・判断・表現】 (R)物語のあらすじをまとめるために、(気持ちの移り変わりに着目し、)ピーターラビットの冒険物語を読んで、概要を捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 (R)物語のあらすじをまとめるために、(気持ちの移り変わりに着目し、)ピーターラビットの冒険物語を読んで、概要を捉えようとしている。	小テスト ワークシート パフォーマンステスト 行動観察 ノート	

令和8年度 年間指導計画 ・ 評価計画 【 2年 英語 】 担当：中溝 亜矢美

期 月	単元名 (教材名)	単元のねらい	学習指導要領の指導項目	指導の観点	指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	
					評価規準	評価方法
9月	Lesson 4 Safe Clean Water Language Focus 4 There is [are] ……、動名詞、have to …… Take Action! Listen 4 ラジオニュース	海外の学校の生徒と情報交換をするために、身の回りの環境問題について、問題点と解決策を整理して、まとまりのある文章を書くことができる。 動に参加するかどうかを決めるために、(活動内容や参加者の感想に目し、) ニュースを聞いて、概要を捉えることができる。	聞くこと 読むこと 話すこと (やり取り) 話すこと (発表) 書くこと	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	【知識】 【技能】 There is [are] ……、動名詞、have to …… / don't have to ……の意味や働きを理解し、それを含む文を読んで、内容を捉えることができる。また、それを含む文を用いて伝え合ったり、正確に書いたりすることができる。 【思考・判断・表現】 (W) 海外の学校の生徒と情報交換をするために、身の回りの環境問題について、問題点と解決策を整理して、まとまりのある文章を書いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 (W) 海外の学校の生徒と情報交換をするために、身の回りの環境問題について、問題点と解決策を整理して、まとまりのある文章を書こうとしている。	定期考査 小テスト ワーク シート 行動観察 ノート ワーク
	Take Action! Talk 2 話し合い Lesson 5 Visiting Australia Language Focus 5 動詞 (show, call など) +A+B、疑問詞 (howなど) +to ……	意見を言う」「賛成する」「反対する」表現の意味や働きを理解し、それを含む文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする。 海外からの旅行者に町や地域を訪れてもらうために、おすすめの場所やイベントについて、複数の詳しい情報を付け加えて、まとまりのある内容を話すことができる。	聞くこと 読むこと 話すこと (やり取り) 話すこと (発表) 書くこと	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	【知識】 「意見を言う」「賛成する」「反対する」表現の意味や働きを理解している。 【技能】 (S1) 与えられたテーマについて、事実や自分の考えを整理し、「意見を言う」「賛成する」「反対する」表現などを用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする技能を身につけている。 【知識】 【技能】 (動詞 (showなど) +A+B)、(動詞 (call, makeなど) +A+B)、(how+to+動詞の原形) を用いた文意味や働きを理解し、それを含む文を読んで、内容を捉えることができる。また、それを含む文を用いて伝え合ったり、正確に書いたりすることができる。 【思考・判断・表現】 (SP) 海外からの旅行者に町や地域を訪れてもらうために、おすすめの場所やイベントについて、複数の詳しい情報を付け加えて、まとまりのある内容を話している。 【主体的に学習に取り組む態度】 (SP) 海外からの旅行者に町や地域を訪れてもらうために、おすすめの場所やイベントについて、複数の詳しい情報を付け加えて、まとまりのある内容を話そうとしている。	小テスト ワーク シート 行動観察 ノート
	Take Action! Talk 3 電車の乗り換え案内 Take Action! Read 2 オンラインショッピング Lesson 6 Friends from Singapore	「行き方をたずねる」「行き方を説明する」表現の意味や働きを理解し、それを含む文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする。 相手の条件や要望に合うものをすすめるために、(機能や価格に着目し、) 商品について書かれたウェブサイトを読んで、必要な情報を捉えることができる。 筆者の考えや気持ちをまとめるために、(事実と筆者の考えや気持ちに着目し、) 海外から来た生徒が日本で学んだことについて書かれたメールを読んで、要点を捉えることができる。	聞くこと 読むこと 話すこと (やり取り) 話すこと (発表) 書くこと	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	【知識】 【技能】 形容詞の比較級・最上級 (-er / -est)、(more / most)、同等比較 (as ... as ~) や副詞の比較級・最上級を用いた文の構造、意味や働きを理解し、それを含む文を読んで、内容を捉えることができる。また、それを含む文を用いて伝え合ったり、正確に書いたりすることができる。 【思考・判断・表現】 (R) 筆者の考えや気持ちをまとめるために、(事実と筆者の考えや気持ちに着目し、) 海外から来た生徒が日本で学んだことについて書かれたメールを読んで、要点を捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 (R) 筆者の考えや気持ちをまとめるために、(事実と筆者の考えや気持ちに着目し、) 海外から来た生徒が日本で学んだことについて書かれたメールを読んで、要点を捉えようとしている。	定期考査 小テスト ワーク シート 行動観察 ノート
10月	Language Focus 6 比較、助動詞 Project 2 人気のあるもの調査 Reading Lesson 2 Online Experiences	海外から日本に来る生徒に紹介するために、日本のおすすめの食べ物について、情報を比較し、感想などを付け加えて、まとまりのある内容を話すことができる。 ツアーや教室の特徴をまとめるために、(事実と筆者の考えや気持ちに着目し、) できることや参加者のレビューについて書かれた案内を読んで、概要を捉えることができる。	聞くこと 読むこと 話すこと (やり取り) 話すこと (発表) 書くこと	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	【思考・判断・表現】 (SP) 海外から日本に来る生徒に紹介するために、日本のおすすめの食べ物について、情報を比較し、感想などを付け加えて、まとまりのある内容を話している。 【主体的に学習に取り組む態度】 (SP) 海外から日本に来る生徒に紹介するために、日本のおすすめの食べ物について、情報を比較し、感想などを付け加えて、まとまりのある内容を話そうとしている。	小テスト ワーク シート 行動観察 ノート
					【思考・判断・表現】 (R) ツアーや教室の特徴をまとめるために、(事実と筆者の考えや気持ちに着目し、) できることや参加者のレビューについて書かれた案内を読んで、概要を捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 (R) ツアーや教室の特徴をまとめるために、(事実と筆者の考えや気持ちに着目し、) できることや参加者のレビューについて書かれた案内を読んで、概要を捉えようとしている。	
2学期						
11月						
12月						

令和8年度 年間指導計画 ・ 評価計画 【 2年 英語 】

担当：中溝 亜矢実

指導の観点：知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

期	月	単元名 (教材名)	単元のねらい	学習指導要領の指導項目	指導の観点	評価規準	評価方法
3 学 期	1 月	Lesson 7 Gifts from China Language Focus 7 tell+A+that ..., 前置詞 Take Action! Listen 5 冒険家のインタビュー	海外からの旅行者にすすめるために、商品について、特徴を整理した上で説明を加えて、まとまりのある文章を書くことができる。 インタビューで取り上げられている人に質問するために、(質問とその回答に着目し、)インタビューを聞いて、要点を捉えることができる。	聞くこと 読むこと 話すこと (やり取り) 話すこと (発表) 書くこと	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	【知識】【技能】現在完了形 (経験用法) の肯定文・疑問文・否定文、(tell+A+that ...) を用いた文の特徴やきまりに関する事項を理解している。また、それを含む文を用いて伝え合ったり、正確に書いたりすることができる。 【思考・判断・表現】 (W)海外からの旅行者にすすめるために、商品について、特徴を整理した上で説明を加えて、まとまりのある文章を書いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 (W)海外からの旅行者にすすめるために、商品について、特徴を整理した上で説明を加えて、まとまりのある文章を書こうとしている。	小テスト ワークシート パフォーマンステスト 行動観察 ノート
	2 月	Take Action! Talk 4 話し合い Lesson 8 Rakugo Goes Overseas Language Focus 8 現在完了形	「意見を言う」「賛成する」「反対する」表現の意味や働きを理解し、それを含む文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりする。 記事で取り上げられている人物の考えや意見をまとめるために、(考えや意見を述べる表現に着目し、)インタビュー記事を読んで、要点を捉えることができる。	聞くこと 読むこと 話すこと (やり取り) 話すこと (発表) 書くこと	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	【知識】【技能】現在完了形 (完了用法) (継続用法) の肯定文・疑問文の特徴やきまりに関する事項を理解している。また、それを含む文を用いて伝え合ったり、正確に書いたりすることができる。 【思考・判断・表現】 (R)記事で取り上げられている人物の考えや意見をまとめるために、(考えや意見を述べる表現に着目し、)インタビュー記事を読んで、要点を捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 (R)記事で取り上げられている人物の考えや意見をまとめるために、(考えや意見を述べる表現に着目し、)インタビュー記事を読んで、要点を捉えようとしている。	定期考査 小テスト ワークシート 行動観察 ノート
	3 月	Project 3 好きなもの×観光マップ Reading Lesson 3 A Pot of Poison	海外から日本に来る観光客にすすめるために、紹介したいものや訪れてほしい場所について、説明やおすすめの理由をつけ加えて、まとまりのある文章を書くことができる。 物語のあらすじと登場人物の性格をまとめるために、(登場人物に着目し、)小僧と和尚の物語を読んで、概要を捉えることができる。	読むこと 書くこと	思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度	【思考・判断・表現】 (W)海外から日本に来る観光客にすすめるために、紹介したいものや訪れてほしい場所について、説明やおすすめの理由をつけ加えて、まとまりのある文章を書いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 (W)海外から日本に来る観光客にすすめるために、紹介したいものや訪れてほしい場所について、説明やおすすめの理由をつけ加えて、まとまりのある文章を書こうとしている。 【思考・判断・表現】 (R)物語のあらすじと登場人物の性格をまとめるために、(登場人物に着目し、)小僧と和尚の物語を読んで、概要を捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 (R)物語のあらすじと登場人物の性格をまとめるために、(登場人物に着目し、)小僧と和尚の物語を読んで、概要を捉えようとしている。	小テスト ワークシート パフォーマンステスト 行動観察 ノート